

さくらの里

「新しい生活様式」で文化祭開催



今年の文化祭は、翌日に町の防災訓練が蚕桑小学校を会場にして開催予定だったために、土曜日一日に集約しての開催となりました。残念ながらお楽しみみの各地区対抗の蚕桑味じまんや売店・あそびコーナーは自粛し、作品展示をメインにして行われました。新しい生活様式に対応して、来館者へ、サーモカメラでの検温とマスク着用確認、手の消毒及び記名のお願いをしました。かぼちゃのジャックオーランタンは、希望者に事前につけてもらい、当日展示して文化祭を盛り上げて頂きました。また、東北芸術工科大学の学生によるジオラマ展示やワークショップも盛況でした。ご協力頂いた担当館（高玉地区）及び部会の方々お疲れ様でした。天候には恵まれませんでしたが、大勢の方々の来館ありがとうございました。

文化祭のひとこま

☆ホール 展示の様子

さくらの保育園児、蚕桑小学校児童の作品、放課後児童クラブ、絵画、写真、書道、手工芸品が並び、内容的にも大変充実した出展となりました。

例年と異なる展示として、入口付近に芸工大生による大日如来堂のジオラマを配置し、地域の方に当時からのお話をお聞きする場を設けました。



↑素晴らしい作品の数々。

☆高玉芝居DVD上映

大会議室では、高玉芝居のかつらや刀、昔の写真や台本などを展示し、なほり旗を立てて芝居本番さながらの雰囲気でした。

DVDは、瑞龍院上演の映像の他、何十年も前の練習風景の映像も流れ、昔懐かしく思い出しながら鑑賞されています。

今年度の定期公演は中止となり、芝居を楽しんだが、勢の方が開催の問い合わせが大勢寄せられ、来年こそ是非開催を！みんなの願いです。



↑芝居道具を間近で拝見。

☆東北芸工大生によるワークショップ

研修室では、芸工大生によるオサメガキと紙相撲のワークショップを開催。参加者は、筆を持ち、願い事を半紙に記しました。直筆の書には自然と人を引きつける迫力がありました。

紙相撲は、なかなか決着がつかない連続で、実際の取り組みとは違う面白さがありました。

オサメガキは、文化祭当日、芸工大生で大日如来堂に納めてきました。



→オサメガキワークショップ



→大日如来堂に納められたオサメガキ。

☆くじ引きアンケート

来館いただいた方に空くじなしのくじ引きと今後の文化祭の日程などについてアンケートを実施しました。

頂戴したご意見は来年以降に反映させていただきます。



今、伝えたいこと③

性格は「顔」に出る、生活は「体型」に出る、本音は「仕草」に出る、感情は「声」に出る、センスは「服」に出る、美意識は「爪」に出る、清潔感「髪」に出る、落ち着きのなさは「足」に出る。ネットの名言より

フラブルバレーボール(12月予定)及び輪投げ大会(2月予定)は中止とさせていただきます。

これからの予定

- 12月4日(金) 手工芸教室
- 12月10日(木) ローズウインドウ教室
- 12月14日(月) 年末大掃除

*第1・3木曜日青色パト車運行



EMほかし作りを開催

10月6日、美しい郷づくりを推進会議の加藤仁美さんを講師に、ほかし作りを行いました。

参加者は、材料を混ぜ合わせ、大量のほかしを完成させました。

その後、生ごみ処理や野菜・花栽培の堆肥として活用されます。



おらんだの地区紹介 ⑤ 東高玉

地区紹介は最後の回になります。東高玉地区の五十嵐区長に紹介していただきます。ご協力いただいた区長さん方、ありがとうございました。

地域づくりの重点項目は

東高玉地区では、「長井線存続の駅景観活動」「台の沢桜の手入れと彼岸花の植栽」「大鮎貝川に(ば)ばカジカ、ミヨウゼン」を発見した生き物調査」「鮭の遡上を願うての稚魚放流」「田んぼアート」「稻荷神社の祭礼、獅子舞」「先輩より学ぶ東高玉の歴史」「サロンの開店」「健康づくり教室」「わらし作り」などの活動に関わってきた方々、そして区民は、地域づくりの仲間だと考えています。消防団、体育振興会、子供育成会もそうです。

地区の課題は

少子高齢社会と、コロナウイルス感染防止の生活様式の変化に伴った区の行事、家庭習慣への対応のありかた、そして豪雨災害復旧があります。鳥獣害対策としての駆除と共生のこと…等があります。

これからの目標は

豊かさと思いやりのある地域を作って行きたいと考えます。一人一人の生き方を尊重し、自分を大切にしながら、周りの人たちをやさしく見守ってゆく「こころ」のある地域社会を、みんなで語り合いながら造って行きたいと思えます。



募集のお知らせ

お申込み・お問い合わせ：蚕桑地区コミュニティセンター TEL 85-2153

手芸教室 干支の置物作り

来年の干支(ウシ)を作ります。

◎日 時 12月4日(金) 午前9時から午後3時頃

◎講師 新野良子氏(鮎貝)

◎参加費 1000円

◎持ち物 裁縫道具・おにぎり程度の昼食

※昼食が必要な方は「コミセン」でも準備できます。

◎締切り 11月25日(水)



ローズウインドウ教室

ローズウインドウは紙を何枚か重ねて作るスタンドグラスのようなものです。

◎日 時 12月10日(木) 午後1時から4時頃

◎講師 高橋修子氏

(日本ローズウインドウ協会認定講師)

◎持ち物 必要な方は眼鏡

◎参加費 1000円(小サイズ)

または 2000円(中サイズ)

※大きさは当日お選びいただけます。

◎定員 先着20名

◎締切り 12月2日(水)



コミセンの大掃除に

今年もご協力をお願いします

日頃、「コミセン」を利用されている団体の皆さんは、左記の日程で年末の大掃除をします。ご協力をお願いします。

◎12月14日(月)

午後1時30分～3時頃

※雑巾などは「コミセン」で準備します。



白鷹町美しい郷づくり推進会議 使用済てんぷら油回収 ご協力をお願いします

◎回収期間:

11月30日(月)10時から

12月2日(水)15時まで

◎回収場所:

蚕桑地区コミュニティセンター

◎出し方:

てんぷら油は、天かす等の不純物を取り除き、ペットボトルに入れてフタをしっかりと閉めて出してください。

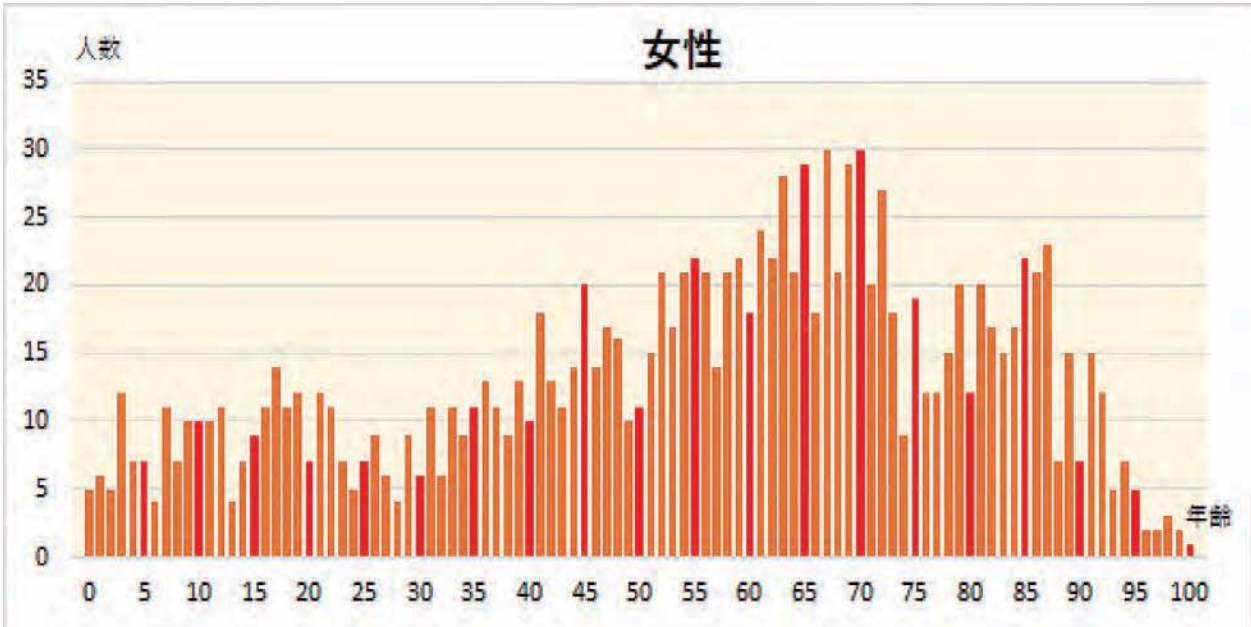
回収は植物性の油に限ります。

※eCO(エコ) ガチャガチャ

ご協力いただいた方に

無料コイン1枚進呈されます。





蚕桑地区の令和2年4月1日現在の女性1,330名を年齢別に表したのが上記グラフです。最高齢は100歳の方で1名いらっしゃいます。67歳と70歳の方が最多で30名で、75歳以上の方は308名(男性は224名)です。男性と同様に、年代を問わず各年齢の前後で大きく差があることや若年層の人口減少が読み取れます。左は各年代毎の人数を現したグラフで、20代の人数が少ないことが気になります。コロナ禍で新しい生活様式を模索する中、蚕桑の良さを再発見し住人が増えるといいですね。

有害鳥獣対策研修会を開催

11月1日に、元大瀬区長の後藤新市さんに現地説明をお願いして、多田会長や地域振興部の会員が大瀬地区のイノシシによる田畑の被害状況を確認しました。被害は年々広範囲に及び、対策の電柵を設置するに及び、2反当たり機材だけで10万円弱の費用が掛かるとのことです。蚕桑地区は熊出没が多くイノシシによる被害情報はまだ少ないですが、今のうちに早急な対策が望まれます。



山柳

蚕桑文柳社作品

課題 「化粧」

おしゃれとは違う女性の身嗜み
一日の仮面を脱いで温む顔
心こそお化粧なしでお付き合ひ

案柳
阜月
凡古

課題 「覚悟」

言い訳をしない男にある覚悟
反発は覚悟小石を投げて見る
覚悟する余生は同じ壺の中

一杯
笑柳
阜月

ユーモア句

即美人なれる化粧のコマーシャル
覚悟など何時になったら出来るやら

一杯
八重

あとかぎ

今年の文化祭ではサーモカメラで検温やマスク着用を確認させて頂きました。幸いにも全員クリアして文化祭を楽しんで頂くことができました。入館チェックはちよつと煩わしくも感じますが、新しい生活様式の常識になりました。これから寒さが増してきますので、インフルエンザ感染にも気を付けながら、コミセン事業にご参加ください。(滝田)